



報道関係各位

2013年2月20日

株式会社アスキー・メディアワークス
株式会社角川アスキー総合研究所

小学生の「スマートフォン」使用率は 男子11%、女子9%。 男子の28%、女子の29%が今後ほしいと回答 『子どもライフスタイル調査2013冬』結果のお知らせ

株式会社アスキー・メディアワークス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:塚田 正晃、以下アスキー・メディアワークス)は、株式会社角川アスキー総合研究所(本社:東京都文京区、代表取締役社長:角川 歴彦)と共同で『子どもライフスタイル調査2013冬』を実施いたしましたので、調査結果をお知らせいたします。

今回の調査は、アスキー・メディアワークスが発行する男子小学生向けゲーム情報誌「デンゲキニンテンドー for KIDS」と女の子向けゲーム&キャラクター情報誌「キャラぱふえ」の読者を対象に実施し、回答者から小学生を抽出して、集計分析したものです。

調査結果のポイント

- 「スマートフォン」を男子小学生の11%が「使っている」と回答し、28%が「スマートフォン」を今後ほしいと回答。(P.2)
- 「スマートフォン」を女子小学生の9%が「使っている」と回答し、29%が「スマートフォン」を今後ほしいと回答。(P.3)
- ボーカロイド(初音ミクなど)の楽曲を、男子小4~6年生の15%、女子小4~6年生の28%が、「よく聴く」または「たまに聴く」と回答。(P.6)
- 男子小学生の32%、女子小学生の42%が、読書時間は「以前より増えている」と回答。(P.11)
- 年賀状を出す枚数は、「1~5枚」との回答が男子小学生で50%、女子小学生で34%。(P.12)

◇調査概要◇

- | | |
|---|--|
| (1) 調査期間:
2012年12月1日~2013年1月21日 | (4) 集計サンプル数: 合計 785 件
男子 小1~3年生 141 件
男子 小4~6年生 91 件
女子 小1~3年生 296 件
女子 小4~6年生 257 件 |
| (2) 調査方法: 雑誌添付ハガキによるアンケート | |
| (3) 調査対象: 小学生
雑誌「デンゲキニンテンドー for KIDS」、「キャラぱふえ」の読者を対象に調査を実施し、回答者から小学生のみを抽出して集計した。 | |

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社アスキー・メディアワークス 経営企画部

TEL:03-5216-8123 FAX:03-5216-8124 E-mail:plan-pr@asciimw.jp

※なお、本リリースに掲載しておりますデータを記事にて引用される場合は、「アスキー・メディアワークス調べ」と出典を明記していただきますようお願いいたします。

『子どもライフスタイル調査 2013 冬』

株式会社アスキー・メディアワークス
株式会社角川アスキー総合研究所

(1) デジタル情報機器について

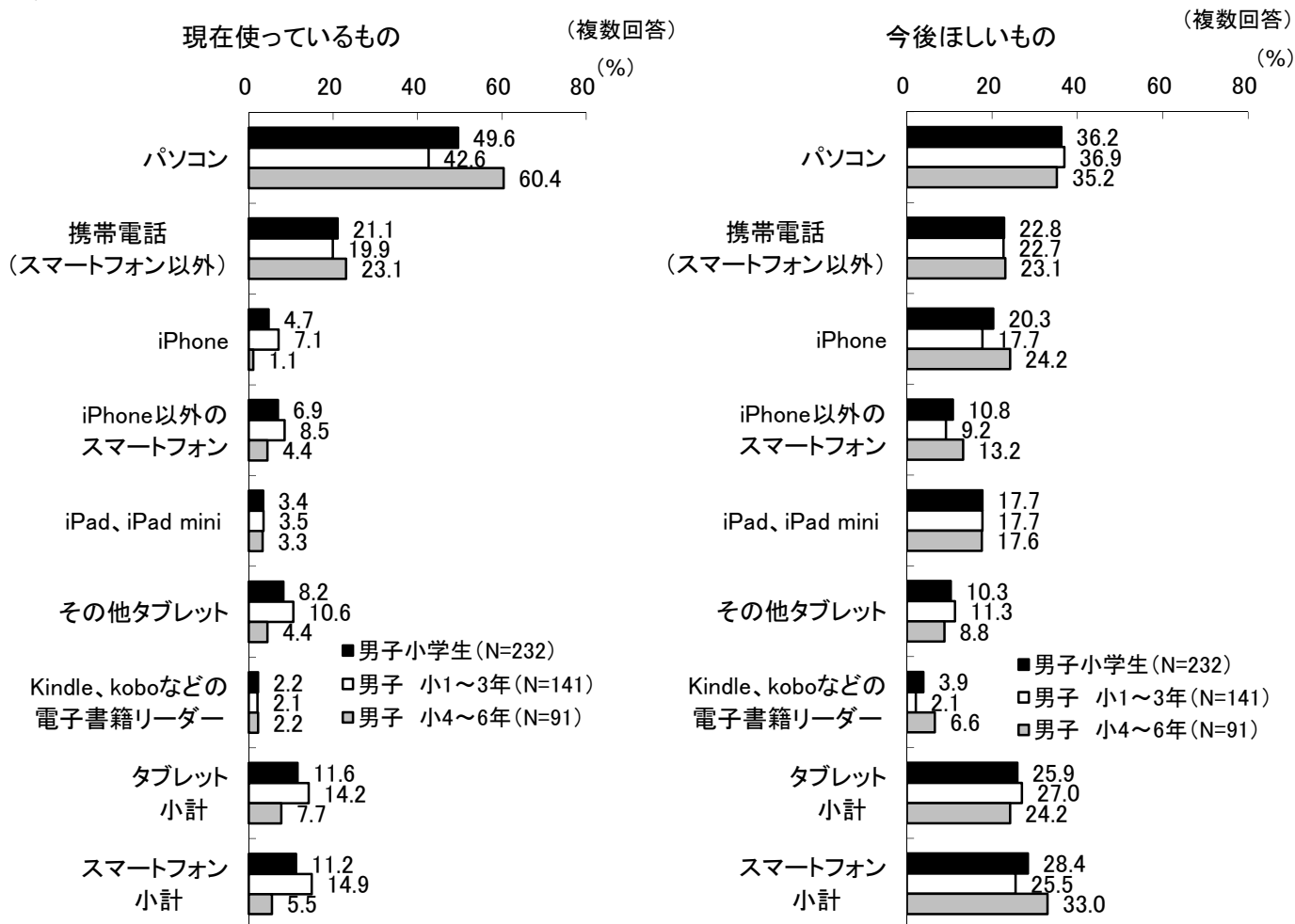
○自分で使っているもの、今後ほしいもの(男子小学生)

「スマートフォン」を男子小学生の11%が「使っている」と回答し、28%が「スマートフォン」をほしいと回答。

自分で使っているデジタル情報機器を聞いたところ、男子小学生の「スマートフォン」使用率は11%、「タブレット」の使用率は12%でどちらも1割強にとどまっている。一方、ほしいものは、「スマートフォン」が28%、「タブレット」が26%となっており、スマートフォンと同様にタブレットにも興味を持っている。また、男子小1～3年生の43%、男子小4～6年生の60%が「パソコン」を使用していると回答しており、高学年になるほど「パソコン」の使用率が高くなる傾向がある。

※デジタル情報機器：パソコン、携帯電話、スマートフォン、タブレット。

(男子小学生)



※タブレット小計は、「iPad、iPad mini」と「その他タブレット」のいずれかを選択した人の比率で、重複を除いた値となります。

※スマートフォン小計は、「iPhone」と「iPhone 以外のスマートフォン」のいずれかを選択した人の比率で、重複を除いた値となります。

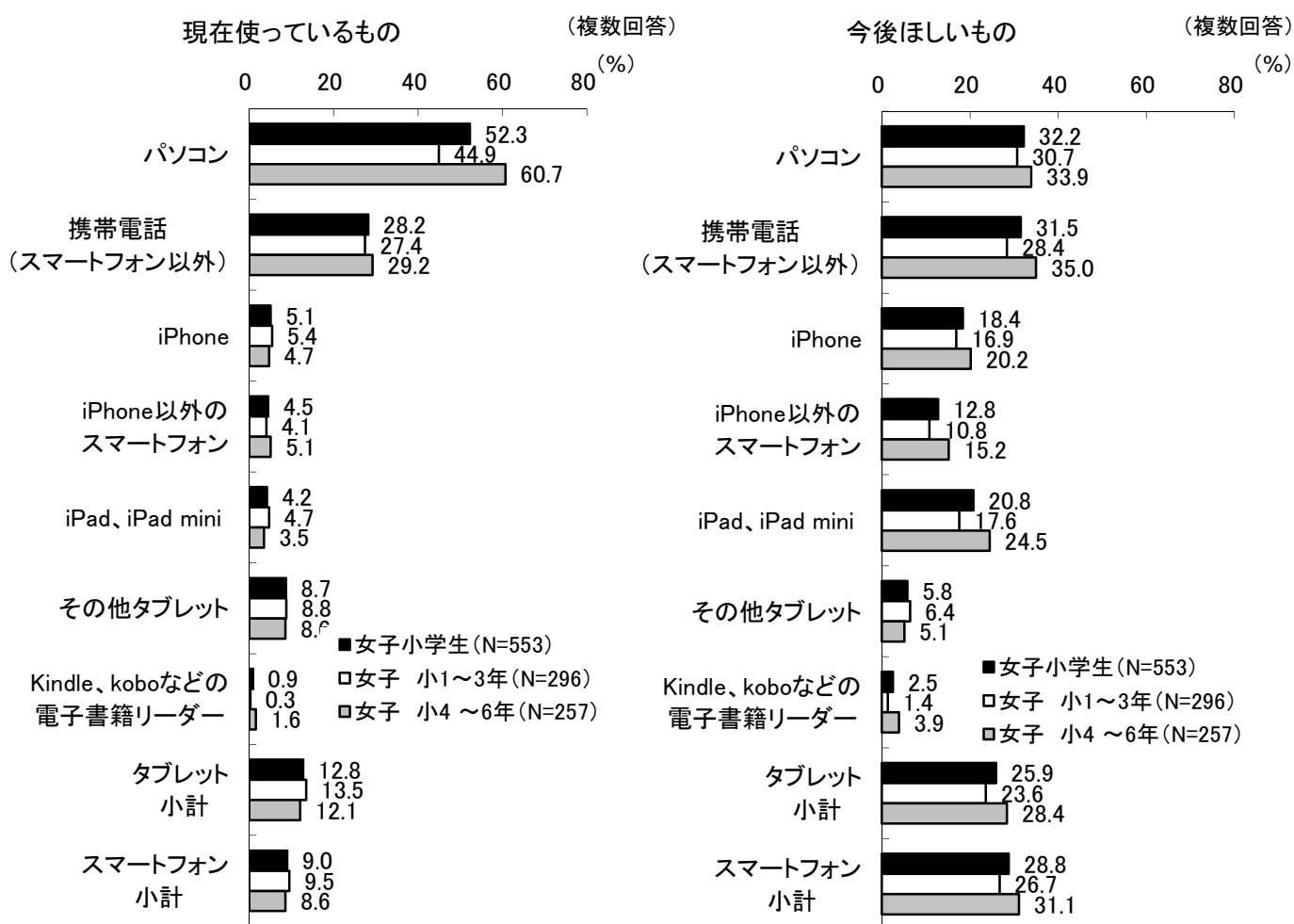
○自分で使っているもの、今後ほしいもの(女子小学生)

「スマートフォン」を女子小学生の9%が「使っている」と回答し、29%が「スマートフォン」をほしいと回答。

自分で使っているデジタル情報機器を聞いたところ、女子小学生の「スマートフォン」使用率は9%、「タブレット」の使用率は13%で男子と同様にどちらも1割程度にとどまっている。同じくほしいものは、「スマートフォン」が29%、「タブレット」が26%となっており、スマートフォンと同様にタブレットにも興味を持っている。女子小1～3年生の45%、女子小4～6年生の61%が「パソコン」を使用していると回答しており、男子小学生と同様の傾向。

※デジタル情報機器：パソコン、携帯電話、スマートフォン、タブレット。

(女子小学生)



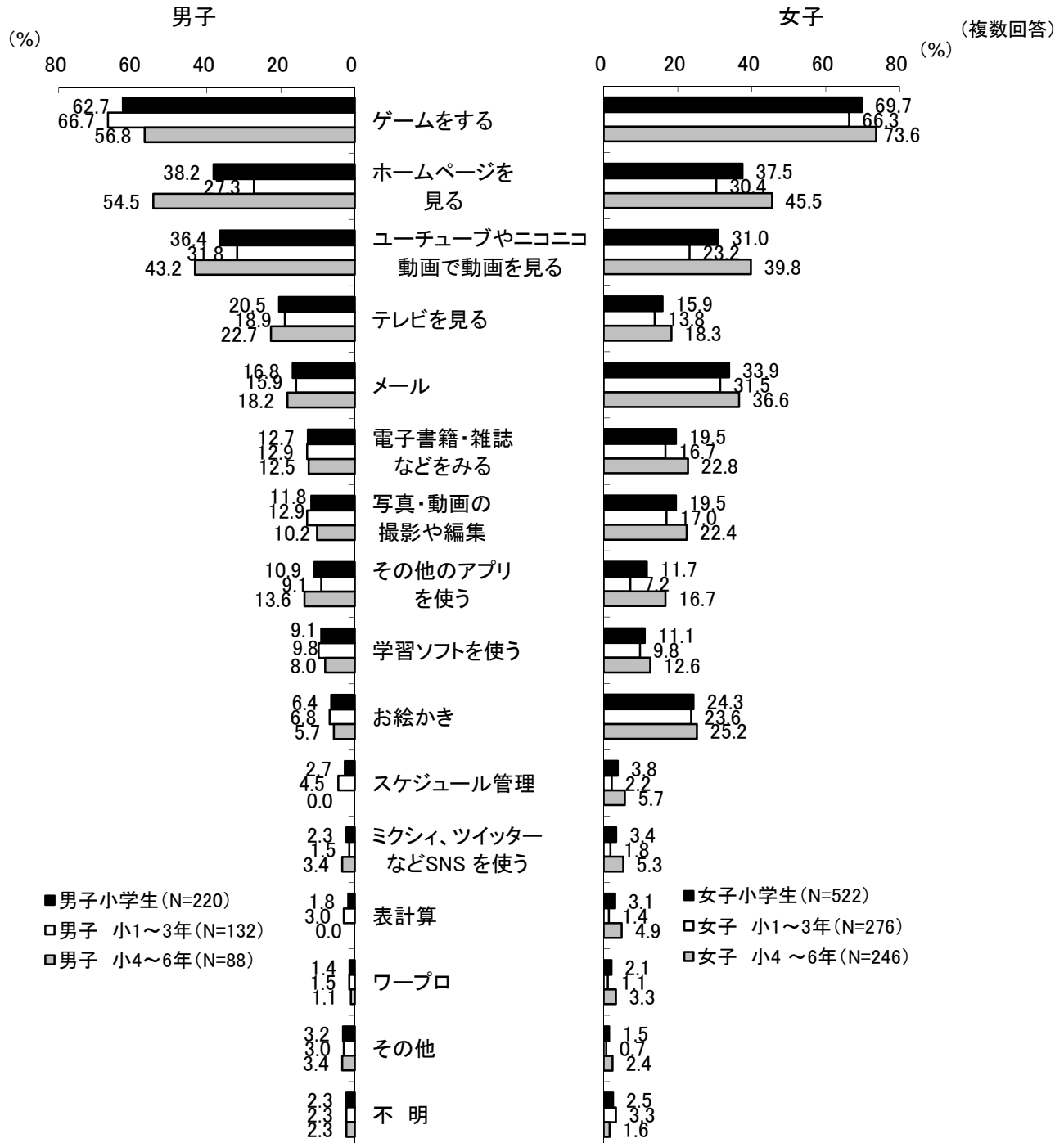
※タブレット小計は、「iPad、iPad mini」と「その他タブレット」のいずれかを選択した人の比率で、重複を除いた値となります。

※スマートフォン小計は、「iPhone」と「iPhone 以外のスマートフォン」のいずれかを選択した人の比率で、重複を除いた値となります。

○デジタル情報機器でやっていること、やりたいこと

デジタル情報機器でやっていること、やりたいことは「ゲームをする」が6割～7割。

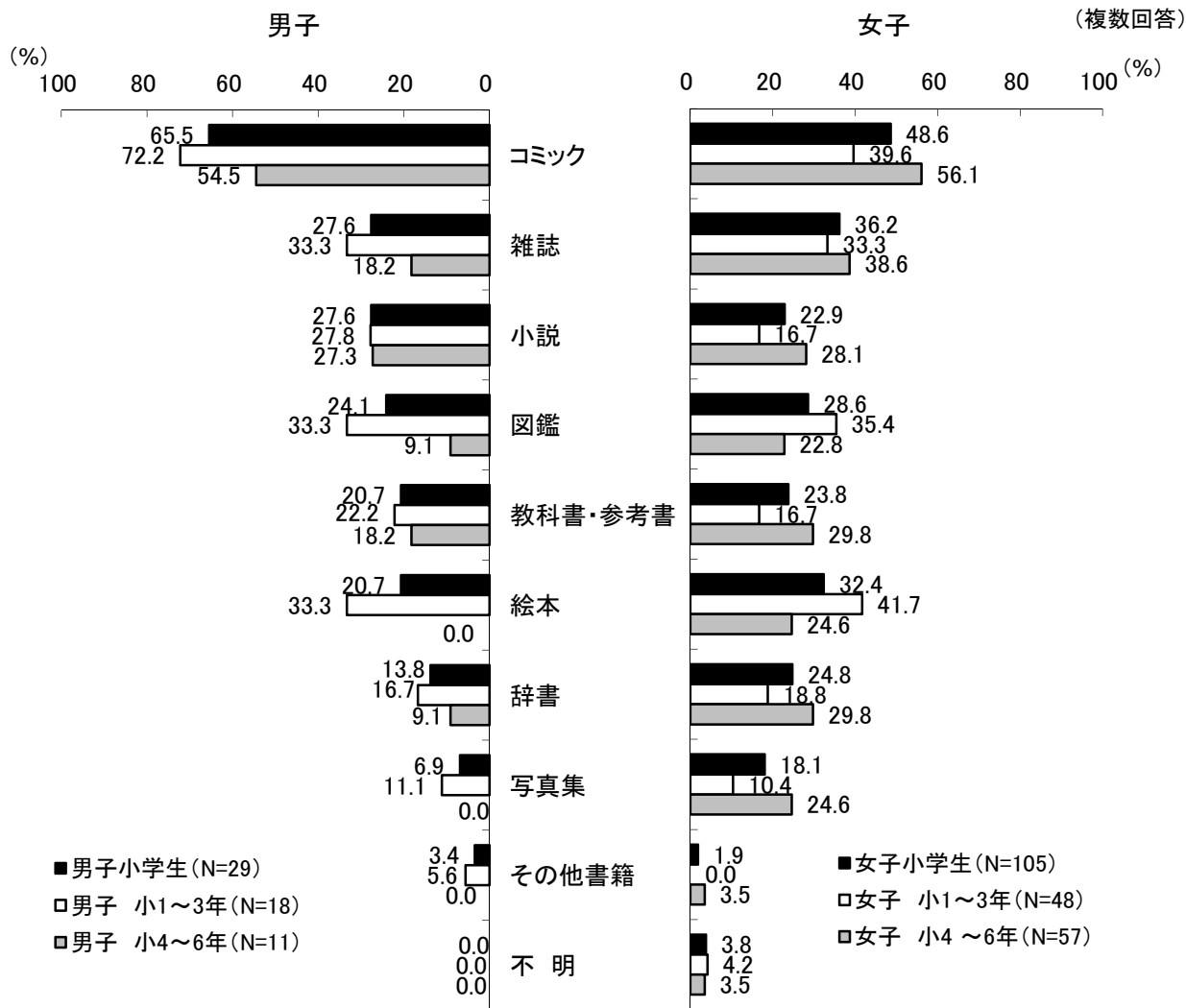
デジタル情報機器でやっていること、やりたいことを聞いたところ、「ゲームをする」との回答が男子小学生で63%、女子小学生で70%を占め、最も高い比率となった。また、「ホームページを見る」が、男子小学生で38%、女子小学生で70%を占め、最も高い比率となった。また、「ホームページを見る」が、男子小学生で38%、女子小学生で38%。「ユーチューブやニコニコ動画を見る」が男子小学生で36%、女子小学生で31%。



○電子書籍でみたいジャンル(やっていること、やりたいことで「電子書籍・雑誌などをみる」との回答者)

みたい電子書籍・雑誌のジャンルは「コミック」との回答が男子小学生で66%、女子小学生で49%。

「電子書籍・雑誌などをみる」と回答の方に電子書籍・雑誌でみたいジャンルを聞いたところ、「コミック」が男子小学生で66%、女子小学生で49%と最も高い比率。また、女子小4～6年生は男子に比べて「教科書・参考書」「辞書」の比率がやや高く、勉強に使うのに意欲的な傾向がある。

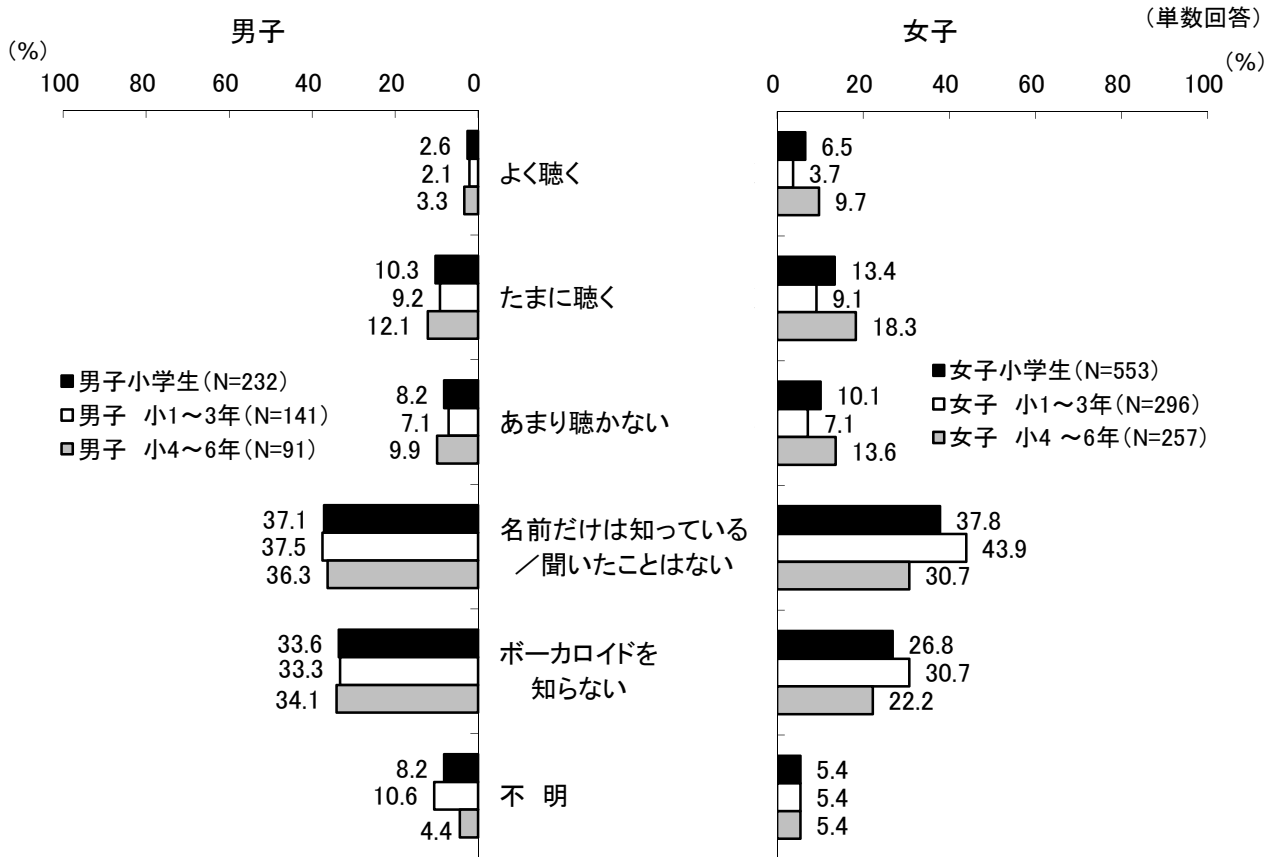


(2)ボーカロイド(初音ミクなど)の楽曲について

○ボーカロイド(初音ミクなど)の楽曲について

男子小4～6年生の15%、女子小4～6年生の28%が「よく聴く」または「たまに聴く」と回答。

ボーカロイド(初音ミクなど)の楽曲について聞いたところ、男子小4～6年生の15%、女子小4～6年生の28%が「よく聴く」または「たまに聴く」と回答。高学年女子の3割弱が「よく聴く」または「たまに聴く」ということになる。



(3) ライフスタイルについて

○メディア接触時間(1日あたりの時間の使い方)

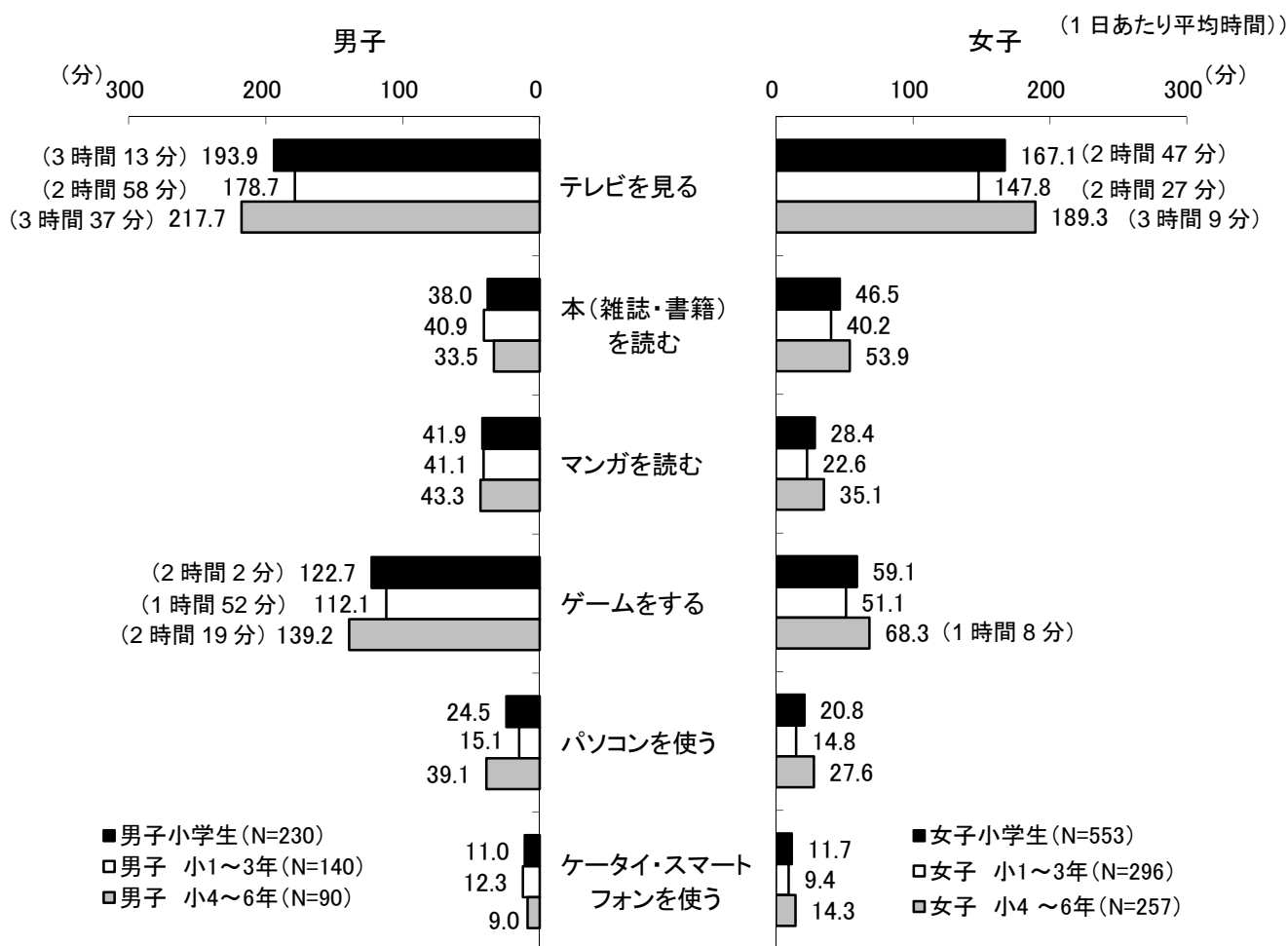
男女とも最も接触時間が長いのは「テレビ」で、男子小4～6年生では、1日あたり3時間37分。

1日あたりそれぞれのメディア接触にどのくらい時間を使っているかを聞いたところ、男女とも最も接触時間が長いのは「テレビ」。小4～6年生での時間が長く、男女とも3時間を超えている。

次いで長いのが「ゲームをする」で男子小4～6年生で2時間19分、女子小4～6年生で1時間8分使っている。

「本を読む」時間が最も長いのは、女子小4～6年生で1日あたり54分と男子より20分ほど長い結果となった。

「パソコンを使う」時間は、男子小4～6年生は1日あたり39分、女子小4～6年生は1日あたり27分。

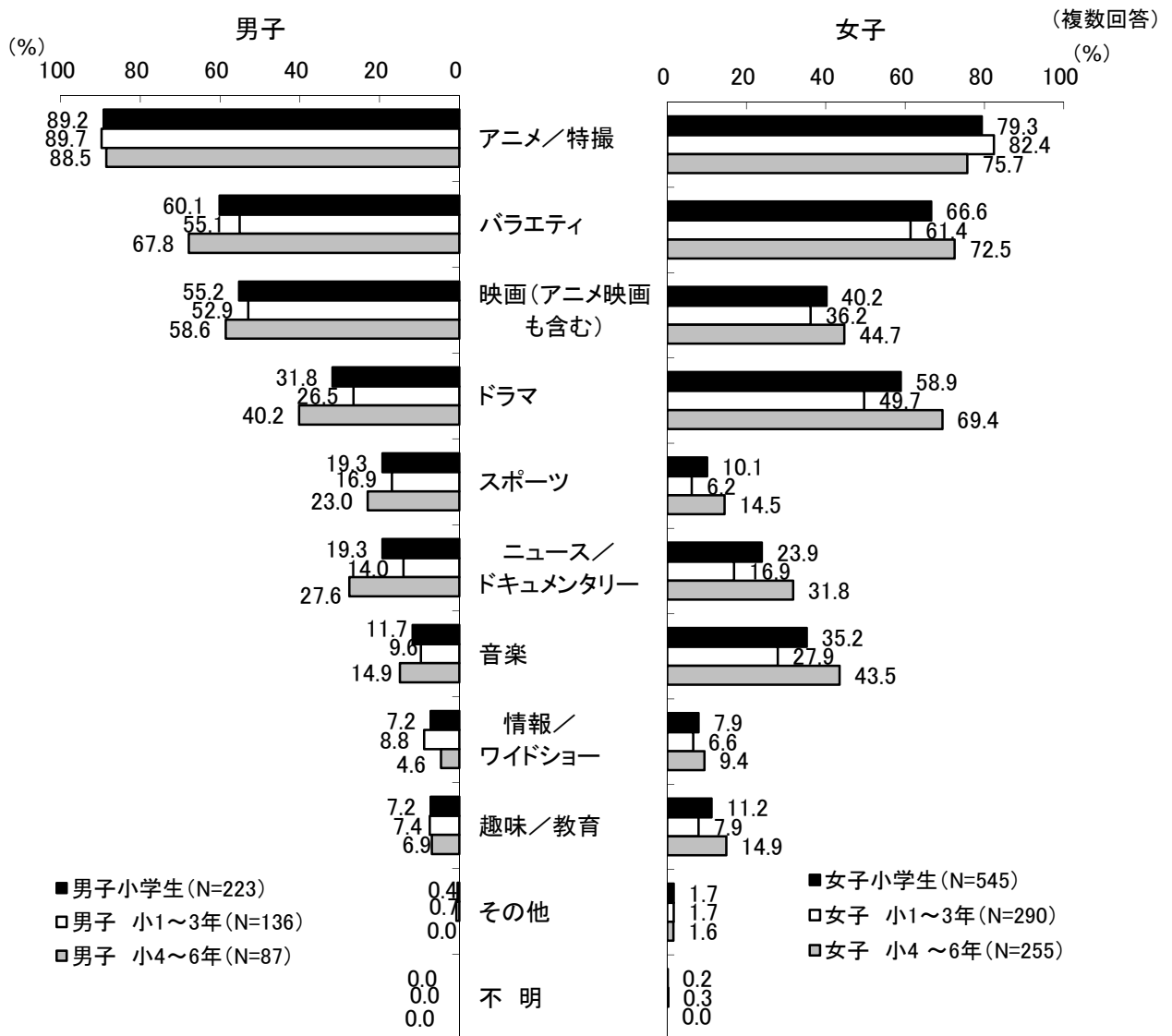


※上記の平均時間は、それぞれの項目で見えていない、使っていないなど“0分”の回答を含めた平均時間。

○見るテレビのジャンル

見るテレビのジャンルは、「アニメ／特撮」が最も高く男子小学生89%、女子小学生79%。

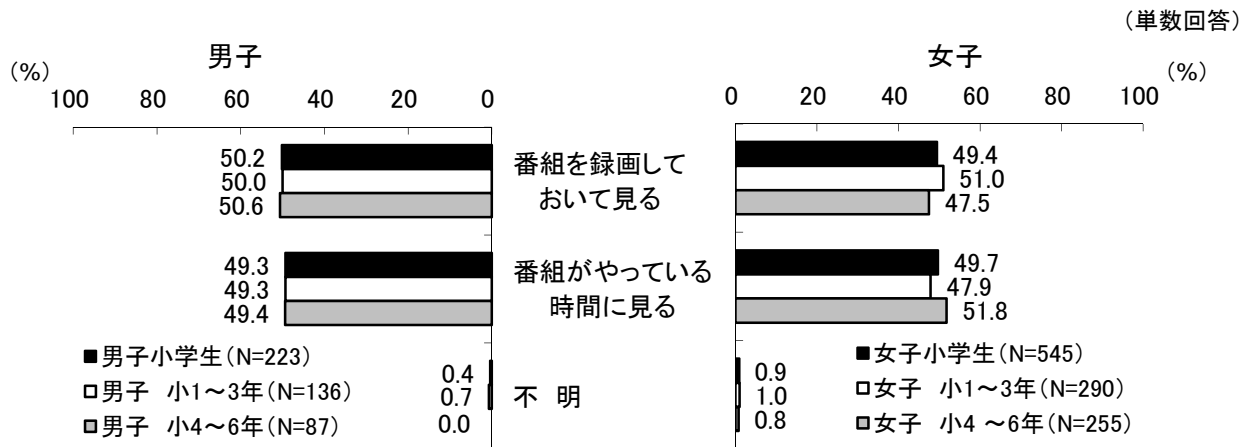
テレビで見るジャンルについて聞いたところ、男子小学生の89%、女子小学生の79%が、「アニメ／特撮」と回答。次いで「バラエティ」が、男子小4～6年生68%。女子小4～6年生73%。女子小4～6年生は「ドラマ」も高く69%。



○テレビを見るとき、どちらの場合が多いか

小学生の50%が「番組を録画しておいて見る」と回答。

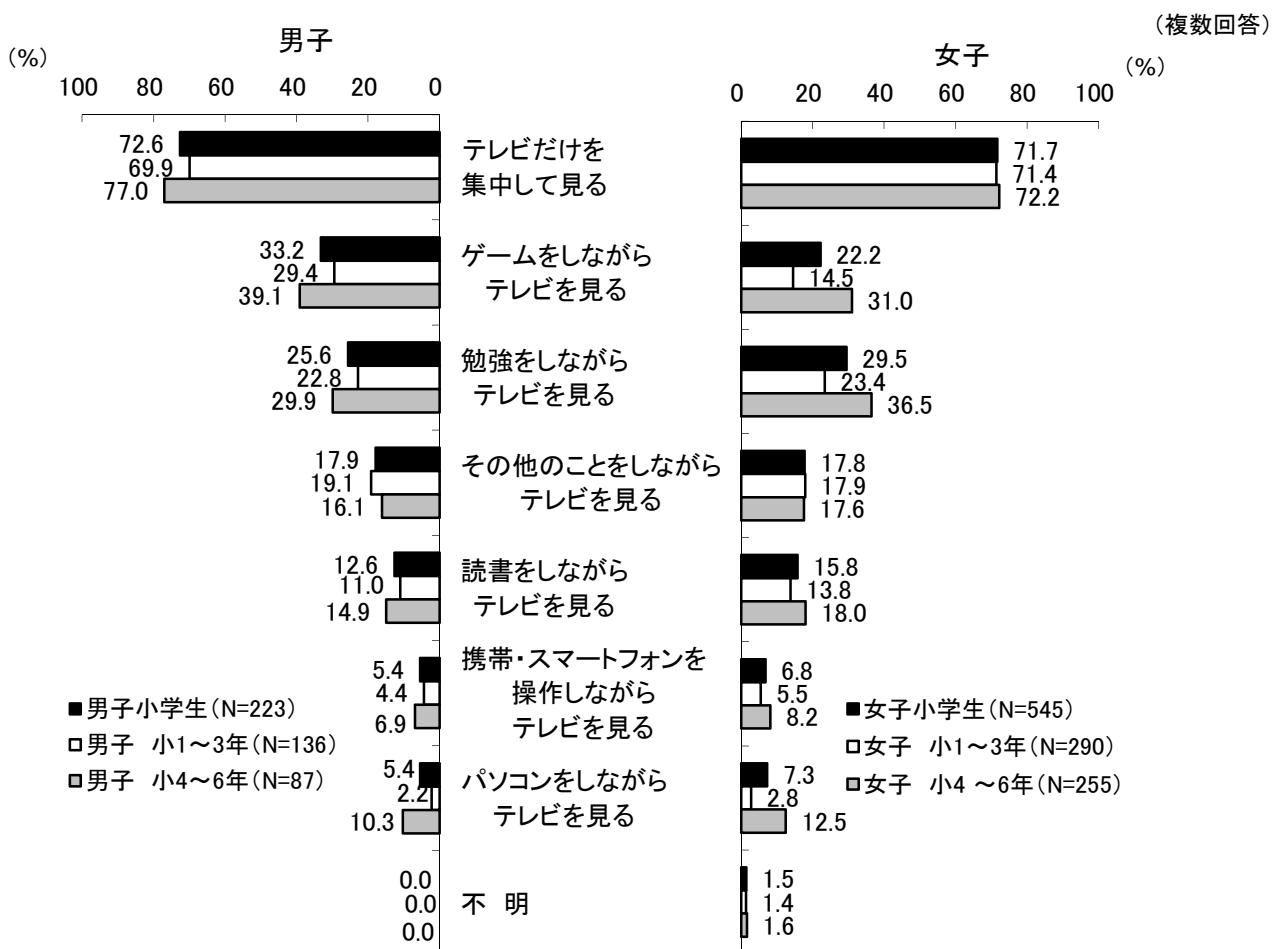
テレビを見るとき、どちらの場合が多いか聞いたところ、小学生の50%が「番組を録画しておいて見る」と回答。



○テレビの見方について

男子小学生の73%、女子小学生の72%が、「テレビだけを集中して見る」と回答。

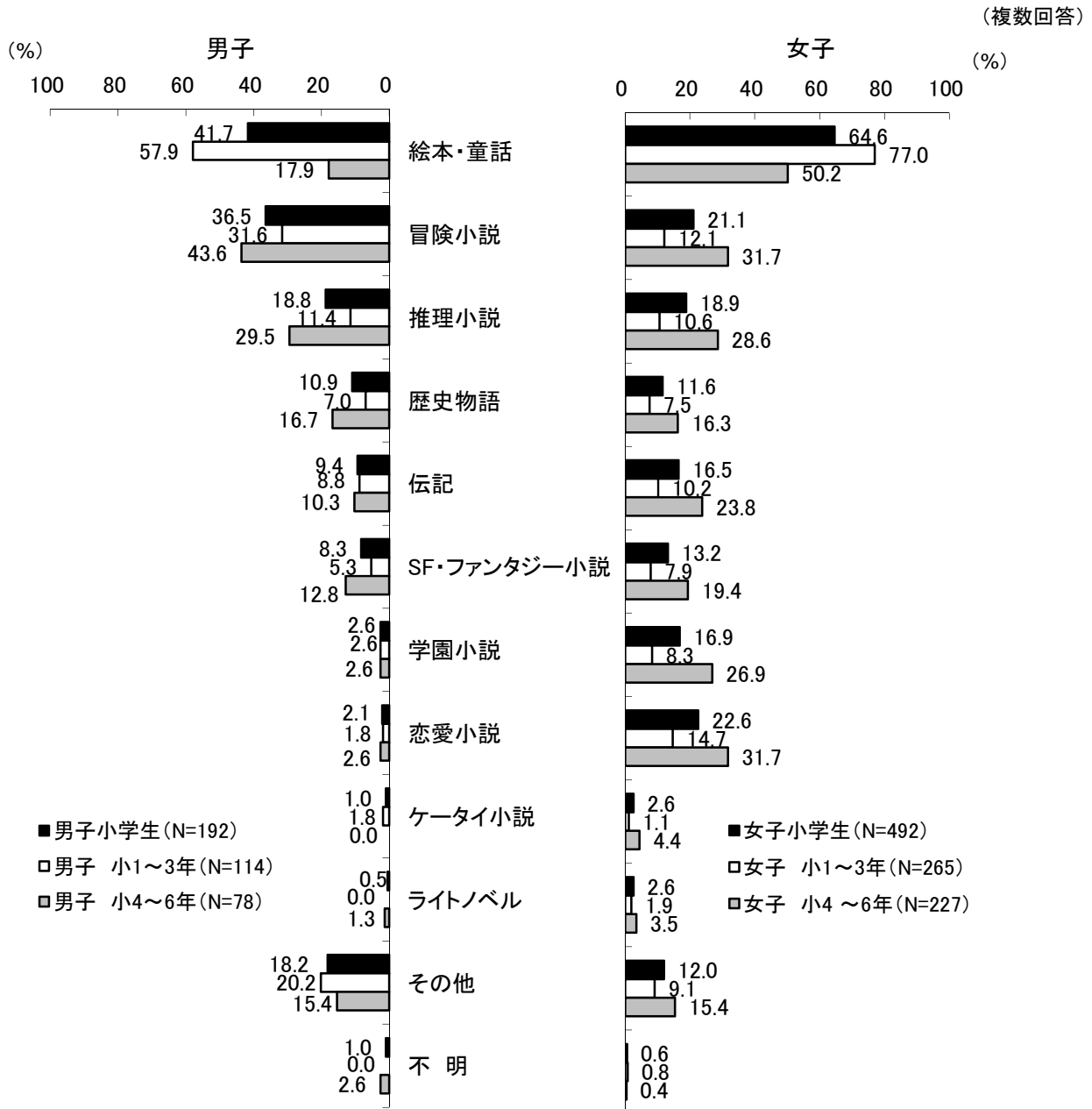
テレビを見る時どうしているか聞いたところ、男子小学生の73%、女子小学生の72%が、「テレビだけを集中して見る」と回答。「ゲームをしながらテレビを見る」と回答が男子小4~6年生で39%。「勉強しながらテレビを見る」と回答が女子小4~6年生で37%。



○好きな本のジャンル

好きな本のジャンルは、男女小1～3年生が「絵本・童話」、男子小4～6年生は「冒険小説」。

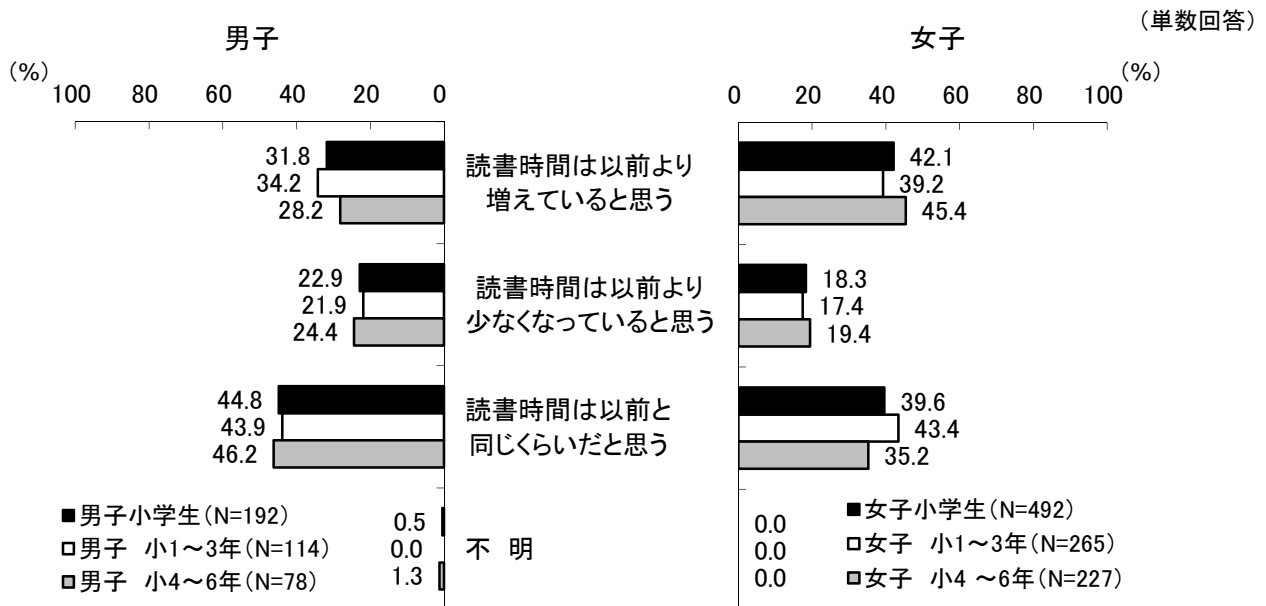
好きな本のジャンルを聞いたところ、男女小1～3年生は「絵本・童話」が最も高い。男子小4～6年生は「冒険小説」が44%と高い。女子小4～6年生は、「絵本・童話」に加えて、「冒険小説」「恋愛小説」「推理小説」「学園小説」などいろいろなジャンルの本が好まれている。



○読書時間の増減について

男子小学生の32%、女子小学生の42%が、読書時間は「以前より増えている」と回答。

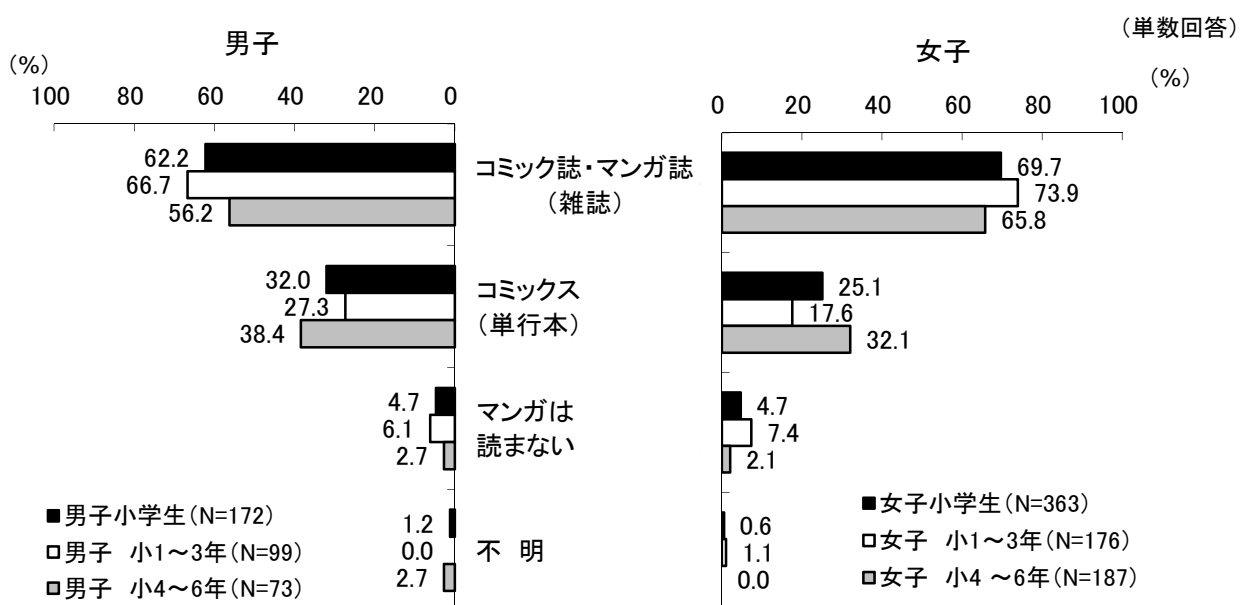
読書時間について聞いたところ、男子小学生の32%、女子小学生の42%が「以前より増えている」と回答。一方、「以前より少なくなっていると思う」と回答は、男子小学生23%、女子小学生18%。



○マンガについて

マンガは「コミック誌・マンガ誌」を読むと男子小学生62%、女子小学生70%が回答。

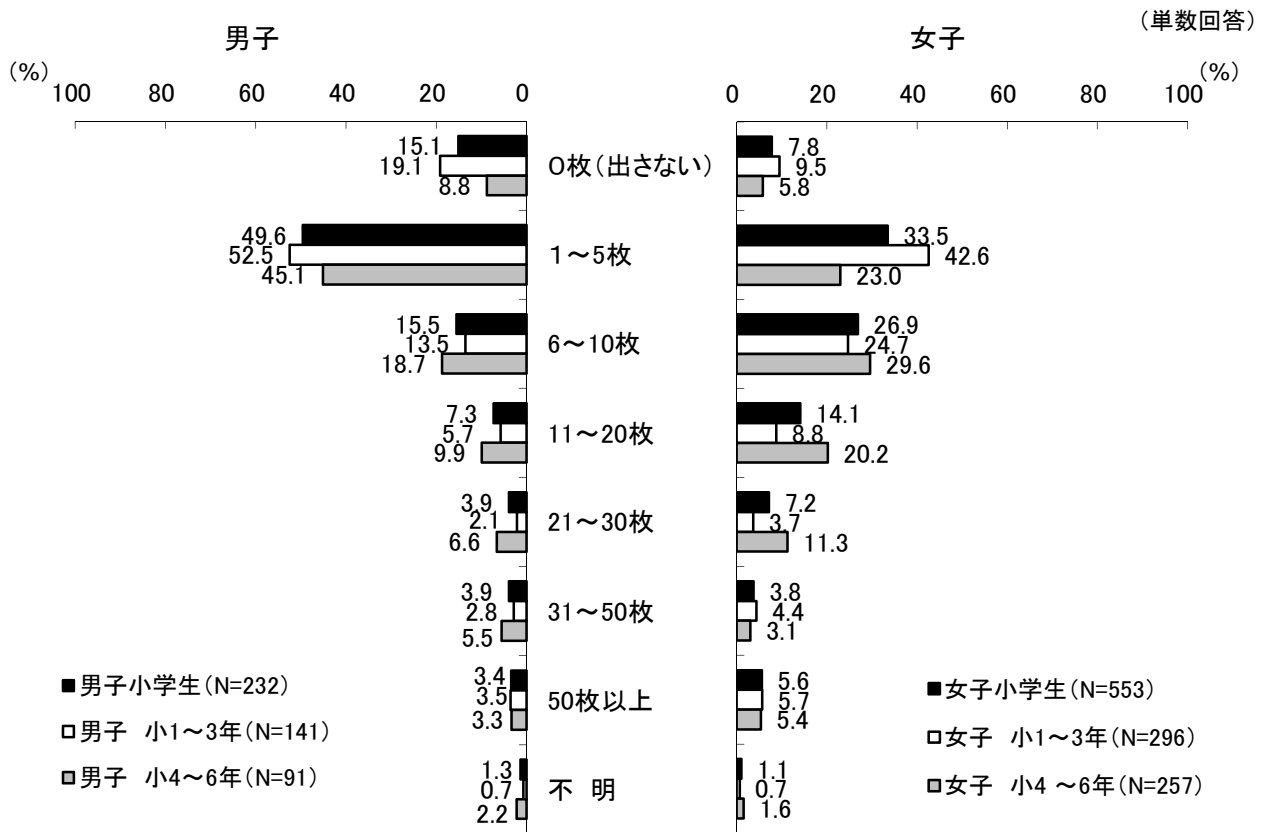
どのようなマンガを読むか聞いたところ、「コミック誌・マンガ誌」を読むと男子小学生62%、女子小学生70%が回答。男女とも小4~6年生になると、「コミックス(単行本)」の比率が高くなっている。



○年賀状を出す枚数

年賀状を出す枚数は、「1～5枚」と回答が男子小学生で50%、女子小学生で34%。

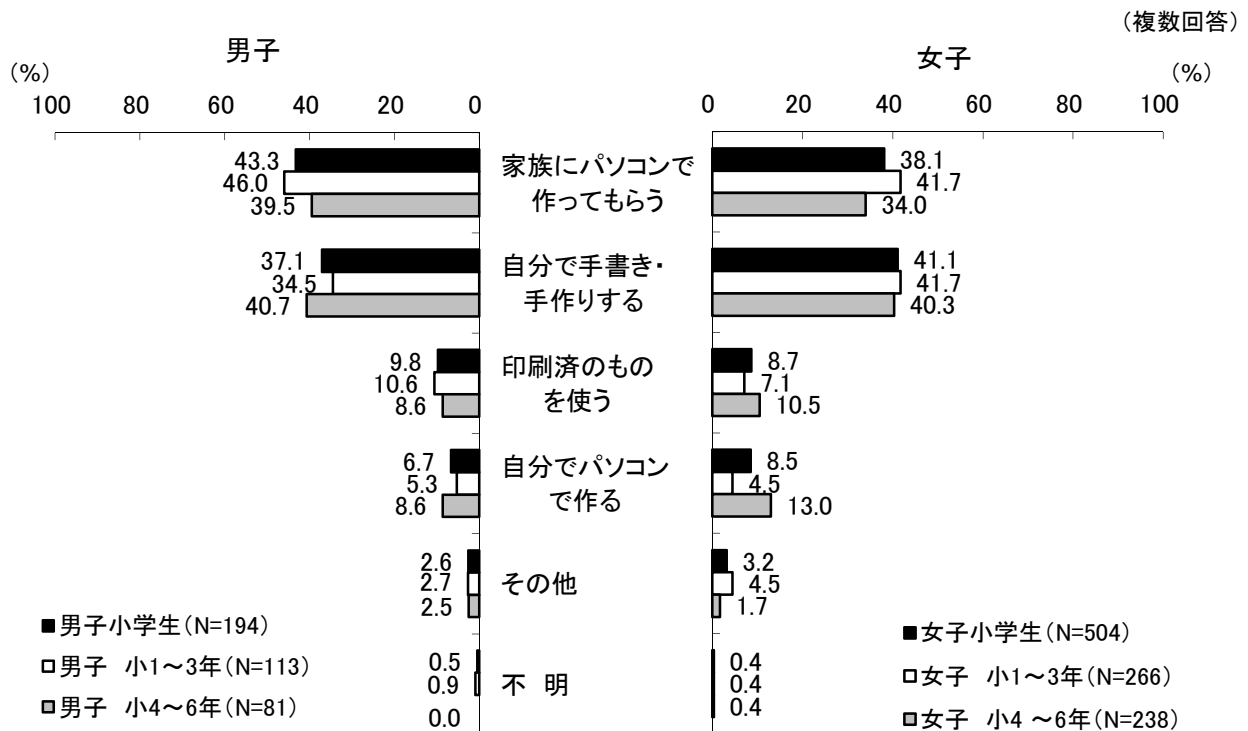
年賀状を出す枚数について聞いたところ、男子小学生の50%、女子小学生の34%が「1～5枚」と回答。女子小4～6年生は、「6～10枚」が30%。



○年賀状の作り方

「家族にパソコンで作ってもらおう」と男子小学生の43%が回答。女子小学生の41%が「自分で手書き・手作りする」と回答。

年賀状の作成方法を聞いたところ、男子小学生の43%が「家族にパソコンで作ってもらおう」と回答。女子小学生の41%が「自分で手書き・手作りする」と回答。



【調査対象の雑誌媒体について】

今回の調査は、以下の2誌の読者を対象に行ったものです。



雑誌名 : 「デンゲキニンテンドー for KIDS」
内容 : 小学生の男の子に大人気の3DS や Wii など、任天堂系ハードのゲーム情報が満載。毎号ポケモンやマリオの情報などを大ボリュームで特集しています。
発行形態 : 毎月21日発売
発行部数 : 160,000部
定価 : 590円 (税込)
男女比 : 男80、女20
平均年齢 : 10.4歳



雑誌名 : 「キャラぱふえ」
内容 : 小学生の女の子に人気のゲームやキャラクターのコミックなどを多数掲載。文具セットやポーチなど、クオリティの高い付録がついています。
発行形態 : 偶数月1日発売
発行部数 : 180,000部
定価 : 680円 (税込)
男女比 : 女100
平均年齢 : 8.7歳

■株式会社角川アスキー総合研究所とは

角川グループ内で、法人向けの調査・コンサルティング事業や、出版事業、教育支援事業などを展開するシンクタンク。テクノロジー分野のイノベーターとして活躍している方々を主席研究員として招聘し、その方々の知見と角川グループの持つコンテンツ力、メディア力、リサーチ力、技術力とを総合的に発揮することで、日本メディア・コンテンツ産業全体の発展に貢献することを目指しています。

- 角川アスキー総合研究所URL: <http://www.lab-kadokawa.com/>

〒113-0024

東京都文京区西片1-17-8 KSビル2F

株式会社角川アスキー総合研究所

TEL:03-5216-8125

■株式会社アスキー・メディアワークスとは

「電撃」「アスキー」「魔法のiらんど」という3つのブランドを軸として、エンターテインメントを中心としたコンテンツを発信する、コンテンツ・プロデュース・カンパニー。雑誌・書籍の出版を主軸に、ウェブ・モバイル、電子書籍・アプリのほか、映像・音楽、グッズ、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。2012年11月、アスキー・メディアワークスは創立20周年を迎えました。

- AMW創立20周年記念企画 公式サイト: <http://20th.asciimw.jp/>
- 公式ホームページURL: <http://asciimw.jp/>
- 公式Facebookページ: <https://www.facebook.com/asciimw>

以上